

| | | | | | | | |
|------|--------------------------------|--------|-------|------|---------------|---------------|-----|
| 団体名 | 飯塚国際交流推進協議会 | | | | | | |
| 事業名 | いづか暮らし～農園の共同運営を通じた外国人留学生の地域交流～ | | | | | | |
| 実施期間 | 令和3年5月9日～令和4年1月16日 | | | | | | |
| 場 所 | 飯塚市 | | | | | | |
| 参加者数 | 外国人留学生 | その他外国人 | 日本人学生 | 地域住民 | スタッフ 大学関係者 | その他 (来場者等) | 合計 |
| | 26 | 8 | 8 | 31 | 8 | | 81名 |

<実施内容>

飯塚市の農家の方々をお願いをして、使われていない畑を借りて、毎月1回、みんなで野菜を育てる活動をしました。最初は、5月からのスタートを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、6月から感染対策をして始めました。

農園では、留学生にトラクターに乗ってもらって土を起こしてもらいました。その後、みんなで肥料をまいて、トラクターで畝(うね)をつくりました。そして、草がはえてこないようにシートを張って、ホウレンソウ、トマト、こまつ菜、ナス、レタス、スイカ、とうがん、にんじん、だいこん、ブロッコリーなど、たくさんの野菜の種と苗を植えました。夏になると、大きくて甘いスイカがとれました。ほかにも、スイートコーンというトウモロコシを収穫する体験をしました。農園のほかにも、参加した地域の方から飯塚市でとれたイチジクをもらって初めて食べたり、田植えを体験させてもらったりしました。インドネシアの留学生には、母国の料理を教してもらいました。そして、みんなでSDGsの勉強をしました。

6月から1月までに、合計8回活動することができました。留学生と日本人の参加者のみなさんは、やさしい日本語を使いながら、楽しくいろいろな話をすることができました。みんなで一緒に野菜を育てて、作って食べるまで、食べものを通じて交流ができたことは、持続可能でより良い世界を実現するSDGsの目標達成につながる活動となりました。

<記録写真>



ふかふかの土に野菜を植えます。



甘いスイートコーンがたくさん！



とれたてのトマトはおいしかった。

<参加者からのコメント>

アンディさん(インドネシア)/Andy from Indonesia トムさん(ニュージーランド)/Tom from New Zealand

都心部で育った私は農園作業を経験したことがなかったのですが、この活動はとても楽しかったです。新しいことに挑戦することが大好きです。この活動に参加できてとても良かったです。他の人たちにもたくさん参加してほしいので、またしてほしいと思います。

農園の活動は、とても楽しかったです。日本にいる外国人の私にとって、ほかの人たちとの出会いや交流ができるとても貴重な機会となりました。また、私の国とは違う日本で、どのように野菜などが育てられているのかも知ることができました。日本語も練習できました。この活動のおかげで飯塚市とのきずなが生まれました。参加してとても良かったです。